

宗閑寺と武将の墓

東月山普光院宗閑寺（浄土宗）

は静岡市の華陽院の末寺。開山は了の上人、開基は間宮豊前守の女お久の方と伝えられている。

ここには山中城落城の際、北条軍、豊臣軍の武将たちの石碑がひっそりと佇んでいる。



豊前守康俊（普光院殿武月宗閑潔公大居士）兄弟とその一族、城主松田右兵衛太夫（山中院松屋玄竹大居士）、群馬県の箕輪城主多米出羽守平長定らの墓と共に、豊臣軍の先鋒一柳伊豆守直末（大通院殿天叟長運大禪定門）の墓碑がうらみを忘れたように並んでいる。

平成九年十一月

文 化 庁

静岡県教育委員会

三島市教育委員会



宗門寺





虫歯地蔵





史跡
山中城跡

